

後期ダンピング症候群による重症低血糖症と副腎機能低下症: ケースシリーズ研究

2015年から2024年までに胃切除術後の食後低血糖症精査のために内分泌学的負荷試験を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「後期ダンピング症候群による重症低血糖症と副腎機能低下症: ケースシリーズ研究」という研究を行います。この研究は、2015年4月より2024年2月までに東京労災病院糖尿病内分泌内科にて、食後低血糖症精査のために内分泌学的負荷試験を受けられた患者さんの副腎機能低下症を評価する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名: 後期ダンピング症候群による重症低血糖症と副腎機能低下症: ケースシリーズ研究

研究期間: 倫理審査承認日 ~ 2025年3月31日

(検査実施の対象は、2015年4月から2024年2月)

研究責任者: 東京労災病院 糖尿病・内分泌内科 桑原 公一郎

(2) 研究の意義、目的について

低血糖症は、特に高齢者において、認知障害や気分障害、昏睡、転倒による外傷、心血管系疾患、不整脈を引き起こす可能性があるため、重大な予後因子です。本研究では、胃切除後の食後低血糖症に関連し、副腎機能低下症が誘因となっていないか調査します。特に、低血糖症のリスクを減少させるための新しい知見を提供し、胃切除後の合併症に対するより効果的で安全な治療計画の策定に役立ちます。これにより、とくに高齢者の健康と生活の質を向上させることが期待されます。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2015年4月より2024年2月までに東京労災病院糖尿病・内分泌内科にて、食後低血糖症の精査として内分泌学的負荷試験を受けられた患者さんの年齢・既往歴・服薬歴・採血などを解析し、その臨床経過や治療効果についての検討を行います。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料: 75gOGTTのデータ、内分泌負荷試験のデータ、血液

情報: 年齢、性別、既往歴・合併症、服薬歴・血糖指標、腎機能、肝機能

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 糖尿病・内分泌内科 医師 金澤 憲

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号: 03-3742-7301 (代表) 内線: 8101

メールアドレス: kanazawa.ken@tokyoh.johas.go.jp